

# たいし 議会だより

## 第164号

発行／太子町議会 編集／議会広報特別委員会

臨時会 新しい議会構成決まる	p 1～p 2
平成30年9月定例会で決まったこと	p 3～p 7
5議員が町政を問う (一般質問)	p 8～p 10
議会のうごき	p 11～p 12

## 新しい議会構成決まる



10月23日に第1回臨時会が招集され、正副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会などの各委員の選任が行われました。

### 就任あいさつ

住民の皆様には日ごろから、町議会活動に対しまして、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちは、10月23日の臨時会におきまして議長、副議長、監査委員に就任致しました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

今年、自然災害が続けて発生し、特に9月の強風をもたらした台風21号では、太子町におきましても強風による被害がありました。被害にあわれた皆様には心から御見舞いを申し上げます。

また現場では、消防団をはじめ、関係機関の皆様方にはご尽力いただき、感謝申し上げます。

このような災害対応はもちろんのこと、人口の減少対策や生涯学習施設の整備などの課題に対し、行政のチェック機能として、議会の果たす役割は大きく、住民の代表として、皆様からの付託と信頼に応え、住民福祉の充実と町政の発展に寄与するため、熱意をもって努めて参る所存であります。

今後とも、皆様方のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

### 議長 (第44代)

中村 直幸



### 副議長

森田 忠彦



### 監査委員

羽山 茂男





# 8859万8千円

## は、どう使われたのか

### 5655円の黒字決算 (実質収支も同額の黒字)

▶ 遊具更新  
どろんこふれあい広場



▶ 太子西条線開通



## 9月定例会 生い立ちを祝うまつり

9月定例会は、9月4日から21日までの18日間にわたり開会されました。

町長より平成29年度一般会計歳入歳出決算認定ほか、選任同意等の議案が提出され、それぞれ可決・認定・同意されました。



#### 【監査意見】(要旨)

決算状況は、歳入で49億8757万2828円、歳出で49億653万7173円、実質収支額は、8103万5655円の黒字決算。歳入を科目別で見ると、地方交付税、国庫支出金や府支出金などは増収、町税や繰入金などで減収。

歳出を性質別に見ると、義務的経費では、人件費、公債費で減少、扶助費で増加している。投資的経費では、磯長・山田小学校空調整備事業、都市計画道路太子西条線の整備や災害復旧事業費などで増加している。その他の経費では、積立金などで減少はあるものの、補助費や繰出金などが増加している。

平成29年度決算は、人件費や扶助費などの義務的経費における経

常経費充当歳出一般財源の増加などにより、經常収支比率は95%台となり、また、歳入に占める自主財源の比率も4割を下回るなど、依然として「外的要因に大きく影響を受ける財政状況」であることに変わりない。

このような中、扶助費をはじめとする社会保障関係費などの増加、加えて、公共施設の老朽化対策など、今後、多額の財政需要が予想されることから、将来を見据えた計画性のある施策展開と、限られた財源の効率的・効果的な活用をより進められ、住民サービスへの十分な対応と向上に取り組まれることを要望し、一般会計決算の審査意見とする。

監査委員

奥田 隆一  
森田 忠彦

### 平成29年度 各会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	49億8757万3千円	49億653万7千円	8103万6千円
国民健康保険特別会計	17億4452万4千円	17億572万2千円	3880万2千円
山田財産区特別会計	628万7千円	463万7千円	165万円
春日財産区特別会計	84万8千円	73万1千円	11万7千円
下水道事業特別会計	4億517万6千円	4億517万6千円	0円
介護保険特別会計	11億6389万8千円	11億2161万1千円	4228万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億8029万2千円	1億7438万1千円	591万1千円
合計	84億8859万8千円	83億1879万5千円	1億6980万3千円

# 平成29年度 決算認定

# 総額84億

## 29年度一般会計8103万

### 平成29年度 主な実施事業

磯長・山田小学校空調整備事業／太子西条線整備事業／町道老朽化対策事業／農道基盤整備促進事業／道の駅運営事業／ため池改修事業／都市公園遊具更新（どろんこふれあい広場）／三世同居・近居支援／地域公共交通基本計画策定／空家等対策計画策定／中学1年生の新入学用品購入に係る就学援助費支給時期を入学前の3月に変更など

▶小学校普通教室にエアコン



### 一般会計

### 質疑

**問** 町税の概況は。

**答** 2400万円強の1・7%の減収。住民税個人は、前年度比、200万円、0・3%増。法人は、200万円程度減収。固定資産税は微増。軽自動車税は平成28年税制改正で増収。たばこ税は減収。町税の減収原因は、たばこ税と法人住民税の減少が主な要因。

**問** ふるさと納税の状況は。

**答** ふるさと太子応援寄付金は526万円。控除額は、1149万4073円、316人が他市町村へ寄付。控除額の75%、862万554円が交付税措置されるので、収支上は黒字。

**問** 全国町村会総合賠償補償保険の対象は。

**答** 建物火災共済は、火災、落雷、爆発、風水害、雪害、土砂災害、車両衝突の補償があり、総合賠償補償保険は、町主催事業で事故等があった場合、町施設の保守管理等で瑕疵があつて賠償責任がある場合が対象。予防接種の事故等も補償対象。

**問** 三世同居・近居支援補助金の申請状況は。

**答** 一件あたり50万円の10件分を計上。実績は1件。現在5件の事前協議があり、内2件が申請済み。

**問** 臨時福祉給付金の申請状況は。

**答** 2535名に送付、2107名が申請。83%の申請状況。

**問** 国民健康保険へのその他一般会計の繰出金の内訳は。

### 平成29年度末 地方債現在高

一般会計	公共事業等債	4521万2千円
	一般単独事業債	5億8656万1千円
	学校教育施設等整備事業債	8億1535万2千円
	臨時財政対策債	28億3111万8千円
	その他の	2億5962万9千円
	合計	45億3787万2千円

### 平成29年度末 積立金現在高

財政調整基金	16億7451万4千円	
減債基金	787万4千円	
特定目的基金	退職手当基金	1億8991万1千円
	老人福祉基金	374万2千円
	公共施設整備基金	12億780万1千円
	環境衛生等基金	1936万1千円
	太子まちづくり「夢」基金	3629万9千円
	たいし・ふれ愛福祉基金	2849万2千円
	聖和台汚水排水処理施設基金	1420万1千円
	ふるさと太子応援基金	1561万4千円
合計	31億9780万9千円	

**問** 町独自減免分、集団健診のがん検診に係る経費、医療費助成に係る国庫減額分の3つの費用。

**問** 町単独事業の予防接種は。

**答** おたふくかぜ、ロタウイルス、B型肝炎。麻しん・風疹予防接種で本来の時期に受けられなかった方の2歳から就学前の第1期と小学1年生の第2期接種、高齢者の肺炎球菌ワクチンで節目以外の接種。

**問** 台風21号に伴う災害による影響は。

**答** 南新池は土砂撤去を終え、文化池は秋以降に工事を予定している。166号線から後屋までの小路川から水があふれたため、維持管理について担当水利の方と協議している。

**問** 橋梁定期点検業務の進捗状況は。

**答** 平成25年度に策定した国のインフラ長寿命化に基づき、41橋梁に対し、近接目視による点検を行っている。

**問** 防犯カメラの整備状況は。

**答** 町管理分で平成28年度に6台、29年度に5台と幹線道路を中心に整備し、町会・自治会設置分は59台。

**問** にごり池整備の状況は。

**答** 土を入れて表面整備を行う予定。土の荷重により沈んだり、埋立時の周りへの影響がないか、土壌の状態を確認するため、ボーリング調査などの土質調査を行った。



埋め立て整備するにごり池

**問** 日本遺産認定後の資料館、旧山本家住宅の入館者数は。

**答** 旧山本家住宅は、631名増、入館料で11万5890円の増収。歴史資料館は673名増、6万3100円の増収。

**問** 磯長小学校のトイレ整備計画は。

**答** トイレが壊れたため修繕を行ったが、洋式化は来年度に設計を行い、それ以降に整備をしていく予定。

**問** 各学校体育館へのエアコン整備を。

**答** 小・中学校の普通教室、特別教室の整備を行った。体育館に整備する場合は、費用が高むと考えられるため、現時点では検討していない。

討論

【反対】 安倍政権は、

社会保障の削減や大企業への減税など「格差と貧困」を拡大したが、地方交付税は、不十分ながらも確保された。すべての教室の空調整備が完了。がん検診の無料化など一定の施策を進めているが、社会保障改悪で住民負担は増えている。本町の一般会計は黒字で、財政調整基金も増えている。一般会計からの繰入金を増やせば住民サービスの向上は可能。公民館の建て替え、図書館の設置は住民の声を聞くべき。地方自治体の役割を果たし、住民のくらし最優先、いつまでも住み続けられるまちづくりを求め、反対。

【賛成】 国、府の補助金や、地方債を有効に活用するなど、歳入の確保に努めている一方、歳出で、太子西条線や堂の下農道の整備、平石トンネルなどの改修、両小学校への空調整備、多子世帯への保育料等の助成や三世代同居・近居助成制

国民健康保険

質疑

度の創設、道の駅増築事業の実施など、住民ニーズを踏まえ、着実に実施している。その上で、黒字決算となったことは、一定の評価に値すると考える。生涯学習施設の整備、公共施設の老朽化対策、まちの活性化など、第5次総合計画の実現に向け、引き続き堅実な財政運営を要望し、賛成。

**問** 基金残高は。

**答** 5534万5220円。

**問** 広域化後の基金の活用方法は。

**答** 府内統一基準に向けて6年間の経過措置中。経過措置中は保険料軽減等に独自で繰り入れは可能。完全統一

化後は、予測しえない収納率の低下等、府への事業費納付金が納付できない場合に繰り入れることになる。

**問** 6年間の経過措置中の保険料は。

**答** 府が示す保険料率に持って行きたいが、経過措置期間中は急な保険料負担とならないよう対応する。

**問** 特定健診の受診状況は。

**答** 対象は2305名。受診者833名中、とくとく健診は381名。受診率は、ほぼ横ばいで、上げていく方針を検討している。

討論

【反対】 安倍政権が強行した「医療保険改悪法」により、30年度から国保の財政運営が都道府県化されることで、住民負担が、さらに上がる。府は、6年

経過後に保険料率や減免基準など「府内完全統一」するとしているが、強制できるものではない。住民負担増の国保改革に反対の声をあげ、高すぎる保険料を引き下げ、住民の苦難解消を。国保法には「社会保障及び国民保健の向上に寄与すること」を目的とする」と、

国の責任で運営される社会保障制度だとある。「住民の福祉の増進を図る」地方自治体の使命を最大限に發揮するよう求め、反対。

【賛成】被保険者数の減少が続く中、徴収体制の充実による収納率向上への取り組みや、国・府支出金などを的確に活用することで財源の確保を図り、基金の取り崩しをすることなく黒字を保つことができたことは、一定の評価ができる。

今後、特定健康診査の受診率の向上を図るなど、保健指導に重点を置くことで被保険者の健康を守るとも

に、6年間の経過措置終了後の保険料統一を見据えながら、収納率の向上や保険給付の適正化に取り組み、被保険者にとって公平・公正な国民健康保険事業となるよう要望し、賛成。

### 下水道事業

#### 質疑

問 有収水量が減ってきた原因は。

答 一番大きな要因は人口減少。

問 有収水量が減ると汚水処理原価は上がっていくのか。

答 汚水処理原価は、汚水を処理する費用で割ったもの。上がっていくことになる。

問 太子西条線の2つの企業で、どれぐらい

の人口分の使用料を賄えるのか。

答 一般家庭30世帯分の使用料を見込んでいます。

問 人口減少に伴って住民負担が増える可能性があるのか。

答 使用料収入、汚水処理原価とも人口減少が影響しており、過去に平成17年、22年に料金改定をしたが、公営企業会計に移行する際、そういうことを視野に入れながら検討していくことになる。

### 介護保険

#### 質疑

問 要介護認定率の状況は。

答 29年度の計画値より下回っているが、伸びている。府内で認定率が低い方から3番目

である要因は、早くから介護予防に取り組んできた一定の成果。

問 高齢者交流サロン7団体への事業費補助金の財源内訳、今後増やしていく予定は。

答 地域支援事業の法定割合に基づき、国・府・町の公費と保険料で賄っており、今後、国の基準である1千人に1か所の設置をめざし、第7期の計画では、町内13か所を計画目標としている。

問 訪問看護と在宅医療への対応は。

答 府の地域医療構想に基づき、府が在宅医療の体制強化と訪問看護の推進を進めている。府内7ブロックと大阪府で、懇話会を開催し、医療職を含めた話し合いを行っている。

問 生活支援コーディネーターの役割は。

答 社会福祉協議会に

委託し「SASA E愛 太子協議体」などの住民主体の集いの場や地域ケア会議、地域包括ケアシステム検討会議などに参画。地域と各関係機関をつなぐ役割を担っている。

問 緊急通報装置の登録者と利用状況は。

答 35名の登録があり、年間で数件の緊急通報実績がある。月1回のお元氣コールで通信確認などを行っているが、一般の台風により停電が発生した際には、地域包括支援センターが全利用者に確認の電話を行った。

### 後期高齢者

#### 質疑

問 特例軽減見直しの経過は。

答 保険料負担の激変緩和のための経過措置

として特例軽減が創設された経緯があり、今回本則にもどすこととなった。

問 太子町の医療費の府内順位は。

答 一人あたり医療費は89万725円で、一番下の43番目の低さ。

### 討論

【反対】軽減特例を29年度から一部廃止する方針を固めたことにより保険料が改善される。府は全国平均と比べても高い保険料。太子町で59・7%の方が軽減措置を受けている。年金がどんどん切り下げられ、物価が上がり、社会福祉が削減されるなかで、生活が苦しい高齢者の軽減措置を廃止し、保険料を引き上げるといふ改悪は高齢者のくらしを直撃する。高齢者いじめの後期高齢者医療制度の廃止を求め、反対。

条 例

●防災会議条例中改正の件

質 疑

問 指定公共機関又は指定地方公共機関の委員とは。

答 西日本電信電話大阪支社、関西電力大阪支社、一般社団法人富田林医師会の3団体に水道センターを加えた4団体の委員。

補 正 予 算

●一般会計

質 疑

問 病気の児童を預かるなど事業拡充を。

答 病児保育事業は、看護師雇用に対する補

助で、病児保育、病後児保育、今回の体調不良児対応型の3種類があり、本町の子ども子育て支援事業計画では、これらを進めていく位置づけをしている。国の要綱改正に伴い、体調不良児対応型事業を、町内の保育園が実施することが可能になったが、今後、それぞれの関係機関と調整し、事業拡充を考えたい。

問 防災用備品の大字地区の配備状況は。

答 山田、春日、太子地区は既に配備しており、今回は葉室地区。順次、畑、聖和台地区と装備を充実していきたい。

問 補正後の基金残高は。

●介護保険

質 疑

答 約9300万円の基金残高。

答 約9300万円の基金残高。

選 任 同 意

●固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

全会一致で選任に同意しました。

上田 稔氏

〔任期〕2021年9月28日まで。

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計	7383万7千円	49億1775万6千円
国 民 健 康 保 険	5073万5千円	15億8474万1千円
介 護 保 険	4233万5千円	12億3839万3千円

第3回定例会 審議結果一覧表

件 名	審議結果	羽山 茂男	森田 忠彦	辻本 馨	村井 浩二	阪口 寛	西田いく子	山田 強	寺町 幸雄	田中 祐二	建石 良明	中村 直幸
町立幼稚園設置条例中改正の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—
山田財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
春日財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—
防災会議条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
30年度一般会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
30年度国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
30年度介護保険特別会計補正予算 (第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 —議長

# 9月定例会の一般質問

# 町政を問う

## 5人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

- 子ども、子育て教育支援について..... P 8
- 住民サービスの向上について..... P 9
- 東京オリンピック聖火リレーについて..... P 9
- 役場の駐車場について..... P 9
- 「すべての子どもを無償に」安心できる子育てを ..... P 10
- 多くの住民が利用できる地域公共交通に..... P 10
- 住民が望む図書館像を明確に..... P 10

### 子ども、子育て

### 教育支援ひろば

田中 祐一 議員

**問** 児童虐待については年々増加傾向にあるが、まずは命を守るという意味で、虐待等の通報があった場合の児童の安全確認措置はどうなっているのか。

太子町における児童虐待の実態は。

**答** 電話、面談、口頭あるいは文書により通告を受け、子どもの状況、所属、生活状況、また過去の相談履歴等を可能な限り情報を収集し、緊急性の判断をする。また関係機関による個別検討会議を開催し、援助方針等を決定し対応する。

児童虐待の実態は、平成29年度末で要保護児童、要支援で、就学前児童が18名、小学生36名、中学生18名。概ねネグレクトが50%、身体的虐待が20%で、本年度に入り一時保護等で富田林子ども家庭センターへ引き継いだ

ケースは3件。

**問** 平成25年に一般質問させて頂いた後の子どもの貧困対策としてどのような施策を実施したのか。また、その貧困に対する民間の活動の一つに子ども食堂があるが、太子町においての実態は。

**答** 町立公民館等を利用し、週2回、学習支援を実施。次に社会福祉士が対象児童・家庭の把握と支援計画の作成及び生活支援を実施している。またCSWを役場及び太子町社会福祉協議会に配置し、生活困窮者等に対する相談及び生活支援等を行っている。

子ども食堂の実態については、社会福祉法人及びNPO法人で計3カ所開設されており、山田小学校区に2カ所、磯長小学校区に1カ所、開催の頻度は、

毎週が1カ所、月に1回が1カ所、年4回から5回が1カ所となっている。また、利用者数はそれぞれ20人未満となっている。

**問** 子ども教育の支援は、今後はソフト面に力を入れていくべき状況になっていると感じており、小学校、中学校での35人学級の導入についての考えは。

**答** 一般的に、1学級当たりの児童生徒数が少なければ、子どもの実態に即した柔軟な指導が可能となり、教師と子ども達のふれあいが一層密になるといった利点があると言われるが、教育委員会としては、町独自の施策として取り入れることについては、財政の面や人的な面における課題等を整理する必要があることから、調査・検証を進める。



# 住民サービスの向上について

村井 浩一 議員

**問** 行政事務への自治体クラウド導入を契機に、コンビニ交付を導入することで、住民票の写しや印鑑登録証明書の発行、マイナンバーカードの交付や活用にも効果があると考えます。住民サービス向上のためにコンビニ交付を。

**答** コンビニ交付導入に係る経費は、初期費用としてシステム構築費に約4300万円、毎年度、システムや機器の保守料が約320万円、地方公共団体情報システム機構に支払う運営負担金が70万円等、多大な費用負担が生じる。コンビニ交付は引き続き調査研究して参りたい。

**問** コンビニ収納やふるさと寄付の伸びからも利便性の向上を求めている住民の高いニーズがあるとも推測できないのではないかと。

税・使用料等の収納環境の多様化、具体的にはクレジットカードや電子マネー等の収納を導入させては如何か。

**答** 収納手段を広げることは、収納率の向上には有効な手段だと認識している。新たな収納手段として、クレジットカードや電子マネー、ネットバンキングを利用したペイジー納付等が上げられる。地方税共通納税システムの動向を注視しながら、本町に合った収納環境の整備を検討して参る。

## Q東京オリンピック聖火リレーについて

後1400年事業に活用すれば、町のPRにも効果があるのでは。また、聖燈会の点火種火をギリシア古代オリピアにて採火された聖火の灯を活用できれば、古代シルクロードより続く竹内街道ならではの壮大なストーリーのある特別な聖燈会になるのではないかと。夢と明るい希望を抱いていけるような戦略ある政策展開を求めます。

**問** 日本遺産、竹内街道、横大路を聖火リレーコースに選定して頂き、奈良・明日香村から大阪・堺市まで聖火リレーを提案する。聖火リレーを契機に、聖徳太子没

**答** 竹内街道が聖火リレー候補地として名乗りを上げるチャンスだと考える。聖徳太子没後1400年をオリンピックの翌年に控え、この聖火リレーを前夜祭と位置づけ、候補地としての取り組みを通じて町の活性化につなげたい。府と連携を密に図りながら、府内の関係自治体との連携についても協議を進めて参りたい。

# 役場の駐車場について

辻本 馨 議員

**問** 現在、町が所有する駐車場は、借地が多く、平成29年度一般会計決算の内容を見ると、年間430万円程の賃料を役場とマイカークラブで支払っている。会社だと、経費として税金対策にもなるが、行政の場合は払いつ放しで何もならない。借地は、まとめたお金を一時に払わなくても利用できるが、土地の形状を変えることも、構造物も作ることも、構造物も作ることもできないという欠点もある。ちなみに、今年から借りている2カ所の土地の価格を見積もってみると、1億円あれば十分で、例えば、この2カ所の土地を基金の1億円を活用して買い取った場合、賃料から利息を引いた額が毎年の経常経費から要らなくなる。舗装していない来庁者用駐車場も含め、どのように考えているのか。

また、現在、総合コンサルタントによる建設場所の再検討をしているが、その結果がどのようなになるかは関係なく、役場の前の土地は公共施設用地として5年後、10年後には必ず必要な場所であると考えます。調査費も予算計上しているので、不動産鑑定士等による土地の相場ぐらいいいの際知っておいてもいいのではないかと。如何お考えか、お尋ねします。

**答** 役場南側駐車場の借地は、役場駐車場として最も適した土地であり、以前から地権者に対し、売買の意思についての確認を行っているが、合意には至っていない。

また、従来、役場南側駐車場は公用車及び一部職員用としても使用していたことから、講演会や会議、イベント等には絶えず満車

となり、全て来庁者用として使用できることが課題となっていたところが、必要な規模の用地が確保でき、来庁者用駐車場についての改善を図ったところである。

職員マイカークラブの駐車場用地の借地料については、職員等の会費により賄っており、新たに確保した公用車駐車場については、生涯学習施設の整備により、現公民館の跡地を駐車場用地として確保できるので、借地によらず買取することは時期尚早と考える。また、行政財産となる公共用地等の取得においては、公用又は公共用としての事業目的を明確にする必要があり、人口減少・少子高齢化が進展する中において、将来における必要性等も含め、より慎重に検討する必要があると考える。

「おへんの子どもを無償に」  
安心できる子育てを

阪口 寛 議員

**問** 政府は、3歳から5歳の幼児教育・保育無償化、0歳から2歳の低所得者層の無償化などについて、来年10月からの実施をめざしているが、給食費は無償化の対象になるかどうかが決まっていない。現在、給食費は保育所では保育料に含まれ、幼稚園は実費徴収されているため、不公平が生じる。保育所・幼稚園とも公平に給食費を無償化すべきではないか。

**答** 幼児教育・保育無償化に伴い、本町の多子世帯に対する助成額は、計算上は年間千数百万円程度の負担減になる。幼稚園・保育園等の給食費無償化は国の検討状況を注視したい。

本町では子ども子育て支援事業として、多子世帯に対して保育料の助成が行われているが、国の制度で無償化されれば町の負担はどれぐらい軽減されるか。給食の無償化は子どもの貧困対策、少子化対策、「義務教育は無償」の憲法理念、食育の充実、子育て支援等、子育ての中心課題である。小中学校の給食費

無償化は全国的に進んでいる。無償化にいたらないとも助成制度を充実すべきではないか。太子町は子育て支援を重視しているが、国の制度への対応と、町の独自施策の充実を。

**答** 高校卒業までの助成をする必要額、中学卒業までの無償化の必要額はどれぐらいか。子どもの医療費無料化を。



幼稚園の給食風景

**問** 太子町の子どもの医療費助成は府内でも先駆けて中学校卒業までの助成制度を確立したが、いまでは高校卒業

まで拡充している自治体が増えている。ただ助成制度では、500円から2500円の窓口負担がある。全国的には助成ではなく完全無償化が当たり前になってきている。高校卒業までの助成をする必要額、中学卒業までの無償化の必要額はどれぐらいか。子どもの医療費無料化を。

**答** 高校卒業まで、助成の対象者を拡充した場合の財源は約700万円。対象年齢を現行の中学卒業までのままで、医療費の自己負担額を廃止して無償化した場合に必要な財源は、約1000万円と見込んでいる。医療費助成の拡充や無償化は、子育て世帯の負担軽減策ではあるが、幅広く検討し、より効果的な子育て支援策を講じたい。

多くの住民が利用できる  
地域公共交通に

西田つぐ子 議員

**問** 地域公共交通会議で「交通に関するアンケート」文中に「支線交通の運行に際しては、税金の投入を検討しており、また、受益者負担のもと、運賃は有料であることを前提に検討を行ってまいります」と書かれてある。「税金を投入するから」こそ、有料がいいのか、無料がいいのかから、議論すべきだと考える。

**答** ①有料であることを前提にする根拠は。②福祉センターバスや乗合ワゴン車など、無料で運行している公共交通をどう考えるのか。

料か、福祉的配慮は必要かどうか十分議論を重ねて検討していく必要があると思っている。

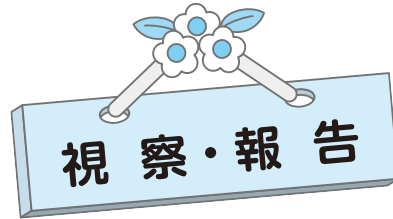
**要望** 料金は、住民の意見をよく聞き、メリット・デメリットも出した上で決めていくこと。無料で走らせている福祉施設としての交通機関を後退させる事のないよう要望する。

Q 住民が望む図書館像を明確に

**問** 建設場所は、どこになろうと太子町に「公民館」と「図書館」が必要であり、建設することで認識を一致させながら、前に向かって進んでいる。①図書館に対する意見集約ができてきているのか。②太子町の利用人数、貸出冊数は。③広域で図書館の相互利用で連携している自治体は、何自治体あるのか。それぞれの利用人数、冊数は。同時に太子町の図書室を利用している状況は。

**答** ①図書館法に基づいた教育関係者や学識経験者、地域住民等で構成された図書館協議会を設置し、意見集約することも考えている。②町の利用登録者数は、3月末時点で4449名、年間利用者は1万2730名。貸し出し冊数は4万265冊。③南河内9市町村で、居住地以外の管内の図書館や図書室を相互利用できる。相互利用の状況は、3月末で各施設の登録者は、633名、利用者は、3265名、貸し出し冊数は、総数で1万3800冊。他の住民の方が本町の図書室利用は、登録者63名、利用者数162名、貸し出し冊数は、1201冊。

# 議会のうごき



## 視察・報告

た住宅地「すみよし台」と最寄り駅までつなぐバスです。

太子町も坂道の多い町ですが、住吉台は、比較にならないくらい山登りに近い急な坂で、学校は100段を超える階段を下りたところにあります。

### 日本共産党 ふたかみ会



くるくるバスに試乗

10月2日、太子町地域公共交通会議が実施した地域公共交通の視察に、日本共産党議員団、ふたかみ会が参加しました。先進事例として視察先選ばれた神戸市東灘区の「住吉台くるくるバス」は、みなと観光バスが委託を受けて運行されており、六甲山系に開発され



境港市庁舎前にて

### 政友クラブ

10月4・5日と政友クラブ4名で鳥取県西部へ研修に行きました。まず境港市では、NHKの朝ドラの「ゲゲゲの女房」でも有名になった水木しげるロードを視察し、観光協会の方から説明を受けました。このロードは、平成5年にオープン以来、鬼太郎列車の運行、映画「妖怪大戦争」の全国公開、妖怪ガイドブックの発行、妖怪川柳コンテストの実施、ブロンズ像の設置及びスポンサーの全国公募等「妖怪のまち」としてまちおこしに成功しています。その要因は、水木先生が生み出したキャラクターの力とマンパワーとして、アイデアマンの舛田知身氏が会長に就任されたことも

買いものに行くにも公共交通や自家用車がなければ、生活が大変です。生活を支えるくるくるバスは、一日800人近くの方が利用しています。210円料金収入で、月の運行費用は、赤字を出すことなく運営できているとのことでした。



坂の途中、交差点にバス停が

大きいと伺いました。今年7月に約13億円でロードがリニューアルされ、夜間も観光客等が楽しめるようにライトアップされています。本町でも聖徳太子という立派なポテンシャルを活かす人材の掘り起こしの必要性を感じました。また平成33年度完成予定で進んでいる市民交流センター建設について教育委員会事務局の方から説明を受けました。この施設はホール、図書交流広場、会議室、防災拠点、社会福祉協議会、カフェなどを備えた複合施設で概算事業費約44億円とのことです。建設場所は、公園用地、学校跡地なども候補になったようですが、建設中は不便をかけるけれど、本庁舎隣接の既存の施設を取り壊した上に建設するということです。

本町の生涯学習施設も今一度第三者の公平な視点から、住民にとって最適な建設場所を選定する必要があるとの思いで、業務を総合コンサルタント業者に依頼しています。

### 議員セミナー

7月24日、シティプラザ大阪において、大阪府町村議長会主催の議員セミナーが開催され、「地域資源の見つけ方〜見つけて活かそう地域の魅力〜」をテーマに、東海大学文化社会学部広報メディア学科の河井孝仁教授を招き、地域に存在する特徴的なものを地域ブランドとして、それを広げていく取組の手法について講演いただきました。



府内、町村議員が一堂に会して

員を対象に行われた全国町村議長会主催の広報研修会に参加しました。「読み手に伝わる文章の書き方」「デザインの力で、もっと伝わる議会広報誌に」と題した講演の後、実際の議会広報誌を例に「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」と題して講演があり、埼玉県寄居町議会と山形県川西町議会の議会広報が紹介されました。

どちらの議会広報も、紙面への読者（住民）参加を積極的に取り入れ、議会の活動姿勢が強く印象に残る編集となっており、広聴活動が議会活動に住民に伝える機会になっていくと、述べられました。学んだことを活かし、見やすい紙面づくりに頑張ろうと思いました。

### 広報研修会

10月9日、議会だより担当の議員及び事務局職



全国から集まった町村議員や職員

# 灯路祭り



来賓を迎えての点灯式

10月20日、今年で10回目を迎える灯路祭りに参加しました。

昨年は台風の影響で中止せざるを得なくなり、残念な思いをしましたが、今年は、秋晴れの中、古代衣装を身にまとい、雅楽の演奏にのって練り歩く、時代行列から始まりました。

夕刻、JA大阪南営農センターでの点灯式には、近隣市町村の来賓もお迎えし、議員一同も同席しました。竹内街道まちづくり協議会会長により灯籠に点灯された後、舞台では相撲甚句や踊りなどが披露されました。当日は、たくさんの方

が訪れ、竹内街道沿道に灯籠が並べられており、幻想的などもしびが見られ、住民も観光に訪れた方も、日本遺産に指定された大道の街並みを堪能されていました。

## 正副議長研修会



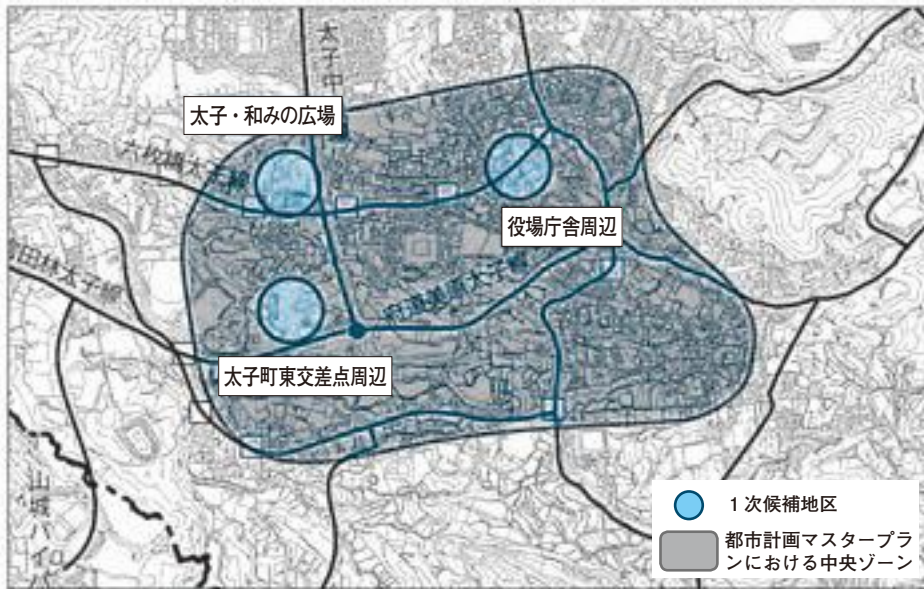
豊中市の取組を傾聴する参加者

11月6日、府町村議長会正副議長等研修会が開催されました。

当日は、豊中市社会福祉協議会福祉推進室長の勝部麗子氏を招いて、「誰もが住みよいまちづくり ひとりぼっちをつくらない」をテーマにした講演で、豊中市社会福祉協議会が取り組んでいる内容の紹介がありました。

# 生涯学習施設建設調査特別委員会

## 建設場所の絞り込み 役場庁舎周辺地区を候補地に



※3カ所が1次候補地区になり議論。結果、役場庁舎周辺地区に絞られる。

千円)が行われました。

第14回特別委員会で「(仮称)生涯学習施設建設候補地検討業務の進め方について」、第15回特別委員会では「請願者への経過報告通知文について」(請願者のみなさん全員に文書を送付しました)を経て、11月14日の第16回特別委員会において、「初期候補地区の選定基準」に沿って10カ所提示され、次に1次候補地区、3カ所が示されました。(上記地図参照)

「法規制の状況」、「安全性」、「交通の利便性」、「造成工事の有無」、「周辺環境」、「周辺施設との連携」を選定基準に数値化した素案をもとに議論した結果、「役場庁舎周辺地区を候補地」に最終候補地を選定することが確認されました。

議会だより(第163号)に掲載以降の特別委員会の開催状況を報告します。

「公平性・透明性の観点から総合コンサルタントへの発注」が確認され、7月25日に指名競争入札(契約金額 456万6

次の定例会は、12月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。

## 議員の香典・弔電の自粛、挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様の弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。